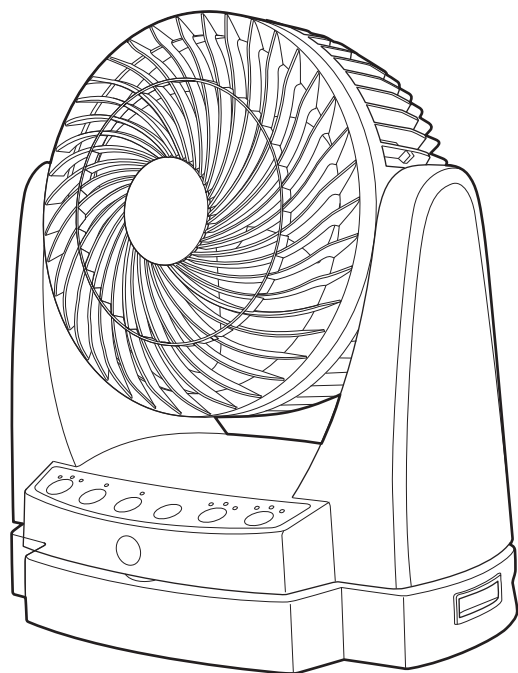
P!ERIA

DCサーキュレーター　QCCR-190D

取扱説明書・保証書

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保存してください。

もくじ

仕　様

項目	内容
電　源	AC100V　50/60Hz
定格消費電力	17W　50/60Hz
電源コード長さ	約 1.6 m
外形寸法	約 幅 33 × 奥行き 21 × 高さ 37cm（本体のみ・リモコン含まず）
質　量	約 2.4kg（本体のみ・リモコン含まず）

● 仕様等は改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
● この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

ZC14A

安全上のご注意

●ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 （物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。）

図記号の意味と例

	⃠は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに絵や文章で示しています。（左図の場合は、「分解禁止」を示します。）
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。（左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。）

⚠警告

図記号	内容
禁止	**交流100V以外では使用しない。** 火災･感電の原因になります。
	製品の組み立てや取りはずし、お手入れの際は、電源プラグを差し込まない。 感電･けが･火災の原因になります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。 火災･感電の原因になります。
	ガードを取り付けずに運転をしない。 けが･故障の原因になります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電･ショート･発火の原因になります。
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わない。 けが･感電の原因になります。
禁止	**本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。** 感電･けがの原因になります。
使用禁止	**異常時（こげ臭い、発煙など）は電源プラグを抜き、使用を停止する。** 火災･感電の原因になります。
指示	**電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。** 感電･ショート･発火の原因になります。
	電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合はふきとる。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート･火災の原因になります。
	お手入れ後や組み立ての際、ガードをしっかりと固定する。 取り付けが不十分だったり、正しく組み立てられていないと、けが･故障の原因になります。
プラグを抜く	**使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。** 絶縁劣化による感電･漏電･火災の原因になります。
	お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電･火災･けがの原因になることがあります。
分解禁止	**分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。** 火災･感電･けがの原因になります。修理は販売店またはドウシシャお客様相談室（裏表紙参照）にご相談ください。
ぬれ手禁止	**ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。** 感電の原因になります。
水ぬれ禁止	**水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。** ショート･感電の原因になります。

⚠注意

指示

電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグをもって引き抜く。
感電・ショート・電源コードの断線の原因になることがあります。

禁止

風をからだに、長い時間続けてあてない。
健康を害することがあります。

ベースを引きずらない。
床が傷つく原因になることがあります。

禁止

ガードの中やモーター部に指などを入れない。
けがの原因になることがあります。

不安定な場所で使わない。
けが・故障の原因になることがあります。

髪をガードに近づけすぎない。
髪が巻き込まれ、けがをする恐れがあります。

禁止

次のようなところでは使わない。
- **レンジなど炎の近く**
- **引火性のガスがあるところ**
- **雨や水しぶきがかかるところ**

変色・変形・炎の立ち消え・火災・感電の原因になることがあります。

お手入れの際は住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。
変色・変形・感電・故障の原因になります。

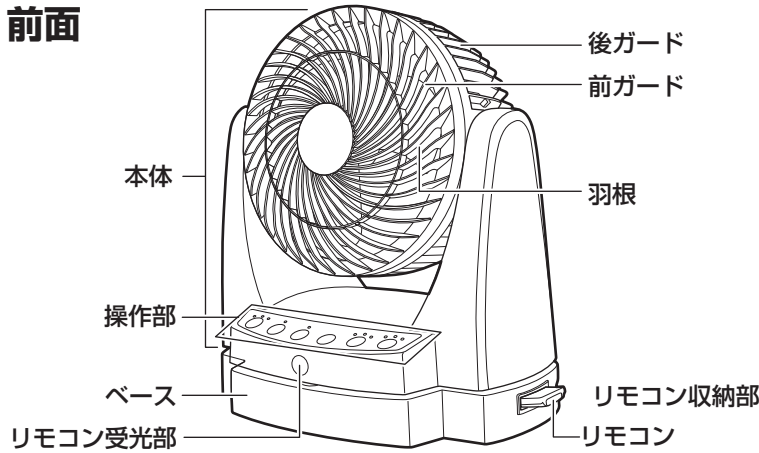
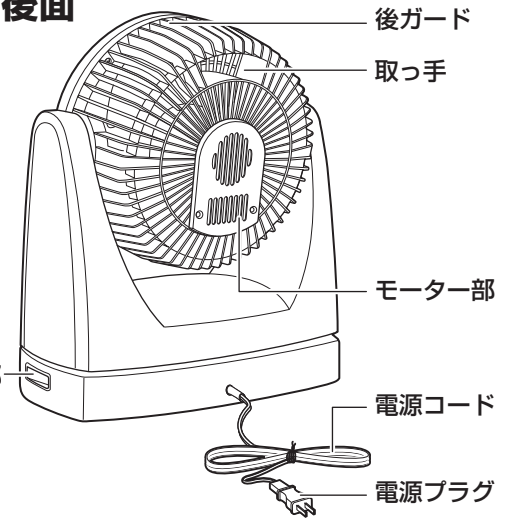
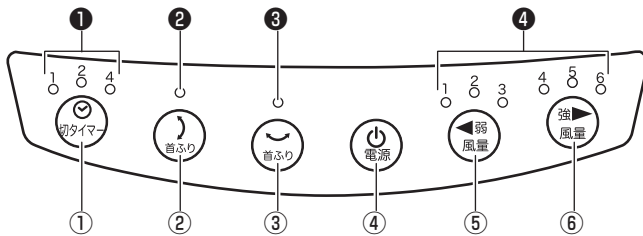
首ふり動作中のサーキュレーターを無理に正面に向けない。
破損・故障・異音などの原因になることがあります。

各部の名称とはたらき

梱包部品一覧

お買い上げ後、同梱の部品を確認してください。

本体	1 個	コイン形リチウム電池 (CR2025)	1 個
リモコン	1 個	取扱説明書（保証書含む）	1 個

※お買い上げの際、製品の箱に入っていた包装部材は、シーズン終了後、製品を収納するときに必要ですので捨てないでください。

※ 本機は家庭用電源AC(交流)をDC(直流)にするユニットを内蔵しているため、ACアダプターは使用しません。

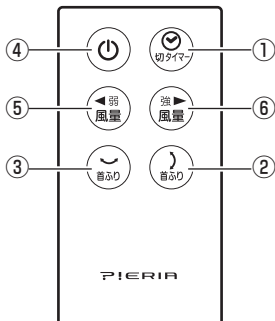
操作部

❶ **切タイマーランプ（1・2・4 時間）**
切タイマーがはたらくまでの時間を表示します。

❷ **上下首ふりランプ**
上下首ふりをしているときに点灯します。

❸ **左右首ふりランプ**
左右首ふりをしているときに点灯します。

❹ **風量ランプ（1(弱) ～ 6(強)）**
現在設定されている風量を表示します。

リモコン

① **切タイマーボタン**
切タイマーを設定します。

② **上下首ふりボタン**
上下首ふりを入切します。

③ **左右首ふりボタン**
左右首ふりを入切します。

④ **電源ボタン**

⑤ **風量◀弱ボタン**
風量を 1 段階弱く設定します。

⑥ **風量強▶ボタン**
風量を 1 段階強く設定します。

正しい使いかた

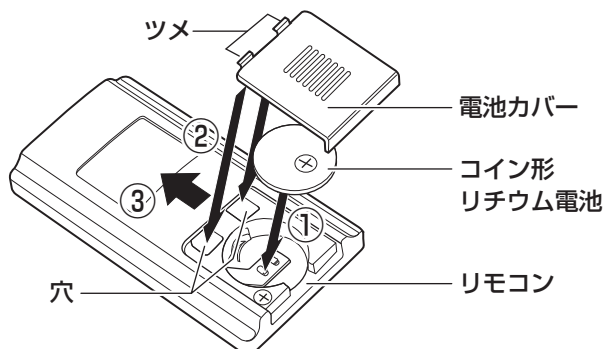
使用前の準備

リモコンに電池を入れる

1. リモコンの電池カバーをはずす

リモコンの裏面に電池カバーがあります。

2. 手順に従って電池を入れます

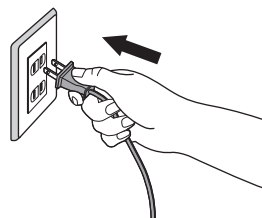
① コイン形リチウム電池のプラス面を上にして、電池を入れます。
② 電池カバーの上側のふたつのツメをリモコンのふたつの穴に入れます。
③ そのまま電池カバーを上側にスライドさせて電池カバーを固定させます。

使用可能範囲
- 本体リモコン受光部正面から直線で約5m
- 本体リモコン受光部正面から左右に約 30 度
- リモコンと本体リモコン受光部の間に障害物がある場合は、リモコンが正常に動作しないことがあります。

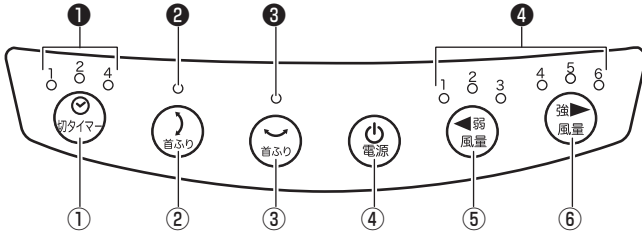
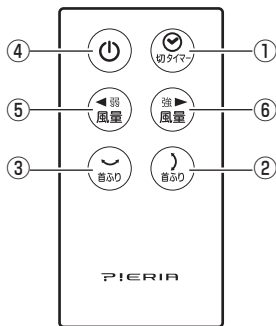
本体の設置

1. 本体を安定した水平な場所に設置する

お手入れで前ガードを取りはずした場合、前ガードが正しく取り付けられていることを確認してください。

⚠警告	**前ガードを取り付けずに運転をさせない。** 事故・故障の原因になります。

2. 電源プラグをコンセントに差し込む

正しい使いかた（つづき）

本体操作部

リモコン

❶ 切タイマーランプ（1・2・4 時間）
切タイマーがはたらくまでの時間を表示します。
❷ 上下首ふりランプ
上下首ふりをしているときに点灯します。
❸ 左右首ふりランプ
左右首ふりをしているときに点灯します。
❹ 風量ランプ（1(弱)～6(強)）
現在設定されている風量を表示します。

① **切タイマーボタン**
切タイマーを設定します。
② **上下首ふりボタン**
上下首ふりを入切します。
③ **左右首ふりボタン**
左右首ふりを入切します。
④ **電源ボタン**
⑤ **風量◀弱ボタン**
風量を 1 段階弱く設定します。
⑥ **風量強▶ボタン**
風量を 1 段階強く設定します。

運転を開始／停止する

1. 運転を開始する

本体またはリモコンの[電源ボタン]を押してください。

- 電源プラグをコンセントにつないで初めての運転では、風量1・首ふりなしで運転を開始します。
- それ以外のときは、前回運転を停止した風量・首ふり状態で運転を開始します。

2. 風量を調節する

風量は6段階に設定することができます。本体またはリモコンの[風量強▶ボタン][風量◀弱ボタン]で調節することができます。

- [風量強▶ボタン] 1 段階強くします
- [風量◀弱ボタン] 1 段階弱くします

風量は本体の[風量ランプ]で確認できます。

3. 運転を停止する

本体またはリモコンの[電源ボタン]を押してください。

4. 電源プラグをコンセントから抜く

⚠警告	**使用後は電源プラグをコンセントから抜く。** 火災・故障の原因になります。

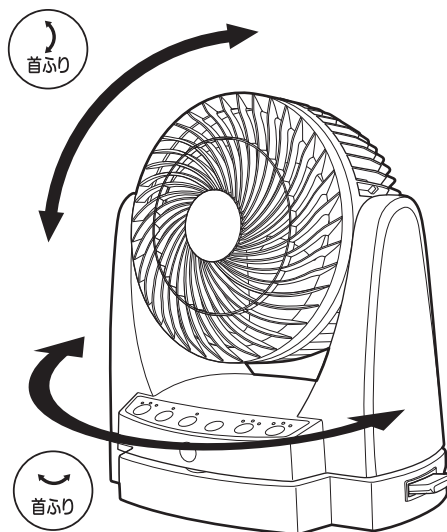
首ふり運転を開始／停止する

1. 首ふり運転を開始する

運転中に本体またはリモコンの[上下首ふりボタン]を押すと上下に、[左右首ふりボタン]を押すと左右に、首ふり運転を開始します。

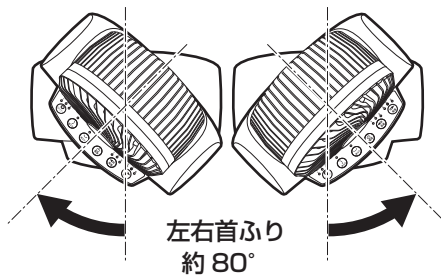
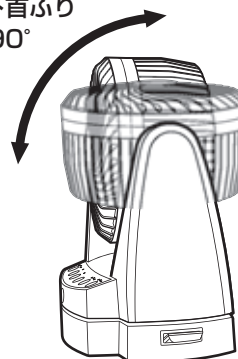
- 上下・左右同時に首ふり運転させることが可能です。
- 本体の[上下首ふりランプ][左右首ふりランプ]で首ふり運転の確認をすることができます。
- 首ふり運転のまま電源を切ると、再度電源を入れて運転を開始したときに首ふり運転の設定が継続されます（コンセントから電源プラグを抜いた場合を除く）。

2. 首ふり運転を停止する

再度、本体またはリモコンの[上下首ふりボタン]·[左右首ふりボタン]を押すと首ふり運転を停止します。

⚠注意	**首ふり動作中に無理に向きを変えない。** 無理に向きを変えると破損・故障・異音などの原因になることがあります。

角度の調節

本機は手動で角度を調節することができません。
電源を入れて、首ふり運転機能で上下左右の角度調節をして、適切な風向きにしてください。

⚠注意	**手動で角度調節をしない** 無理に角度調節をすると、故障の原因になります。

正しい使いかた（つづき）

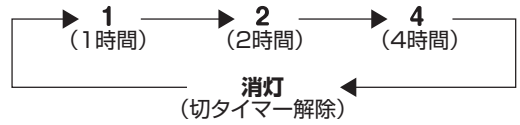
切タイマー（時間）を設定する

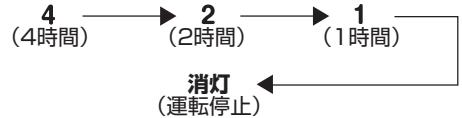
1. 切タイマー（時間）を設定する

運転中に本体またはリモコンの [切タイマー切タイマーボタン] を押すと、切タイマーランプが点灯し、切タイマーが設定されます。切タイマーは最長 4 時間まで設定できます。

⚠警告	**使用後は電源プラグをコンセントから抜く。** 火災・故障の原因になります。

切タイマーランプについて

切タイマーランプは、本体またはリモコンの [切タイマー切タイマーボタン] を押すごとに下のように切り替わります。

※切タイマーをキャンセルするには、本体またはリモコンの[切タイマー切タイマーボタン]を切タイマーランプが消灯するまで、何度か押します。

切タイマーを設定したのち、時間の経過とともに切タイマーランプが移り変わり、切タイマーが働くまでの時間を表示します。

お手入れと保存

⚠警告	**お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。** 感電・火災・けがの原因になります。

お願い

- 住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉などは絶対に使わないでください。
- 本体に水をかけて洗わないでください。（感電・故障の原因になります。）

お手入れ

本体の汚れは、ぬるま湯か食器用中性洗剤に浸して、かたくしぼった柔らかい布でふきとり、さらに乾いた布でやさしくからぶきをしてください。（樹脂部分は強くこすらないでください。傷つきの原因となることがあります。）

前ガードの取りはずしかた

本体のガード内部の汚れは、前ガードを取りはずして行ないます。

※ 本機の羽根は取りはずすことができません。

⚠注意	**前ガードの取りはずしには、長いドライバー（細い部分が 10cm 以上）を使用する。** 短いドライバーではガードの間を通すことができず、十分にネジをまわすことができません。

1 後ガードに4つの取り付け用のネジがあります。それをお手持ちの長めのドライバー（ガードの間を通る細い部分が 10cm 以上）を使用して取りはずしてください（はずしたネジを紛失しないように注意してください）。

2 4 つのネジをはずしたあと、後ガードを押さえ、前ガードを手前に引いて取りはずしてください。

組み立てかた

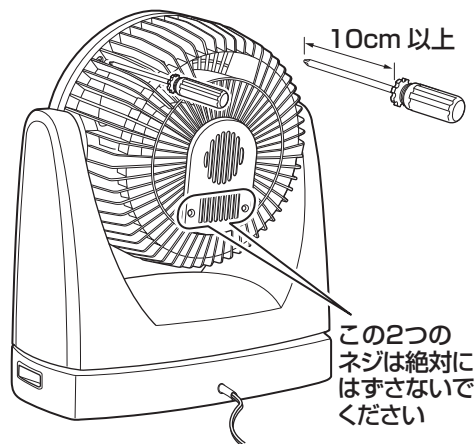
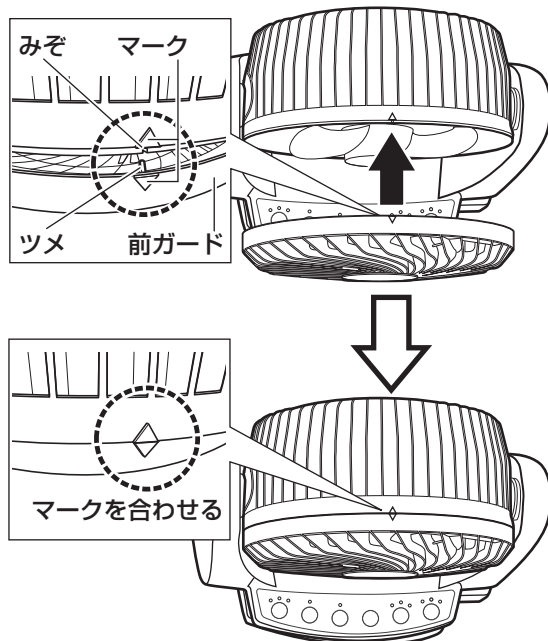
①前ガードと後ガードのマーク（▲・▼）を右の図のように合わせ、全体的にそのまままっすぐ押し込みます。
（マークの下には後ガードには「みぞ」があり、前ガードには「ツメ」があります。これを組み合わせるように押し込んでください。）

②前ガードと後ガードの間にすき間がないことを確認し、後ガードから 4 か所にネジをお手持ちのドライバーで取り付けてください。
※強くしめすぎると、ネジ穴を破損させる恐れがありますのでご注意ください。

⚠警告	**前ガードを取り付けずに運転をしない。** 事故・故障の原因になります。

⚠注意	**• 前ガードをネジでしっかりと固定してから電源プラグをコンセントに差し込む。** **• 羽根のエッジ等でけがをしないよう、十分に注意してください。**

保存のしかた

- お手入れのあと、よく乾燥させてください。
- ポリ袋などをかぶせ、お買い上げの商品が入っていた箱に入れて、湿気のない場所に保存してください。
- 箱に入れるとき、前もって首ふり機能で 90°上を向くように調節しておくことが必要です。

修理・サービスを依頼する前に

⚠警告	**修理技術者以外の人は分解したり修理をしない。**

「故障かな？」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
羽根がまわらない	• 電源プラグが抜けている	電源プラグをコンセントに差し込む
運転時に大きな音がする	• 前ガードが正しく取り付けられていない	前ガードを正しく取り付ける（「組み立てかた」（8ページ）参照）
手動で角度を調節できない	• 本機は、手動で角度調節をすることができません	首ふり機能を使って角度調節をする
リモコンで操作できない	• リモコンの電池が切れている	新しい電池に交換する
	• コイン形リチウム電池が逆に入っている	コイン形電池を正しく入れる（「リモコンに電池を入れる」（4 ページ）参照）

長年ご使用のサーキュレーターはよく点検を

このような症状はありませんか？

- 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- 電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- こげ臭い匂いがする。
- その他の異常・故障がある。

このような症状のときは、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドウシシャお客様相談室に点検をご相談ください。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

（本体への表示内容）

※経年劣化により発火・けが等の事故の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体に行っています。

<table>
<tr><td rowspan="2"></td><td>[製造年]（本体に西暦4桁で表示してあります）
[設計上の標準使用期間]（本体に表示してあります）</td></tr>
<tr><td>設計上の標準使用期間を超えて使用されますと経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。</td></tr>
</table>

（設計上の標準使用期間とは）

※下表の標準的な使用条件の下で使用した場合に、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

■ 標準使用条件〈JIS C9921-1による〉

環境条件	電圧	AC 100V	
	周波数	50Hz／60Hz	
	温度	30℃	
	湿度	65%	
	設置	標準設置	製品の取扱説明書による
負荷条件		定格負荷（風速）	
規定時間など	運転時間	8h／日	
	運転回数	5回／日	
	運転日数	110日／年	
	スイッチ操作回数	550回／年	
	首振運転の割合	100%	

●「経年劣化とは」

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。